

0-4 グランピアンズ Grampians

あのパトリックエトランジェ(フランスの名クライマー)をして「世界で最も美しいルート」と言わしめた Serpentine(13b)や、世界最高のボルダープロブレムといわれる Anmaganma(V13)を有する、オーストラリアが誇る世界に名だたる岩場である。

小山田大が初登した世界最難のボルダリング課題 Wheel of Life もここにあり、最近ではボルダリングのエリアとしても有名。

ルートは主にスポーツとトラッドに別れる。

2002年のトポには掲載されていない(その後開拓された)エリアはほとんどがスポーツ系で以下のHPに詳しく載っている。

http://www.climb.org.au/index.php?page_id=10&action=region®ion_id=5

私は2009年5月に2週間ほど滞在したが、1時間ほど離れた Arapiles と合わせて、とても充実したクライミングを楽しむことが出来た。時差もなく日本からカンタスなら夜行便でいけるので、社会人のツアーにもオススメである。ただしナチプロを使えることは最低条件となる。

岩質
砂岩

シーズン

ゴールデンウィークに行ったが気候としては大変良かった。春と秋がベストだろう。

エリア

Taipan wall

言わずと知れた世界に名だたる壁。その赤茶けた美しい壁はリンヒルの North face のポスターや、モファットが serpentine をオンサイトしている写真などで世界的に有名になった。

高さ100m、幅1キロほどの壁には長短70本近いルートがある。それぞれがとても個性的で美しい。

中でも Serpentine(13b)は今でも世界中からこのルートを登るためにクライマーがやってくる1本。滞在中もちょうどドイツ人がレッドポイントして歓声をあげていた。

私は Sirocco(12c)、Seventh pillar LHV(11c)、The Invisible Fist(12b-c)、Mr Joshua(12b)、Serpentine(13b)、Venom(13a)と登ったが、壁の左サイドは冒険的なルート、右に行くにしたがってスポーツ的なルートになる。

例えば壁の左に位置する Sirocco。1p目は11aほどの結構緊張感のあるクラック混じりのフェイス。2p目はのっぺりとした35mほどの垂壁をボルト4本で登る、とてもエキサイティングで頭を使うピッチ。

このあたりのルートは大海原をどちらに進んだらいいか迷うほどボルトやチョーク跡がなく、相当の経験とセンス、登る技術が必要。(登っていたらローカルのクライマーが驚いていた)

一方右に位置する The Invisible Fist(12b-c)はボルトルートで、ホールドもチョークで真っ白。そしてかなりのクライマーが取り付いていた。

まずは右サイドのルートで自分の力量を見極めて、徐々に高いグレードや冒険要素の強いルートに挑むのがオススメである。

Serpentine(29)

有名な「世界最高」といわれるピッチは壁のど真ん中、一番高さが傾斜もきついタワー状の部分にある。2p目になるため通常は固定されている Fix を使ってユマーリングで取り付く。(1p目は大きくトラバースするため割愛されることが多い)

ルートの長さは 40m。ただし終了点はなく最後のプロテクションからローダウンとなるため 70m ロープで下降できる。
60m ロープなら途中でかけかえか、飛び降り回収(かなり怖い)になる。

ビレイ点から大きなルーフを越えて、右上気味にコーナーヘトラバースするが、ここがいきなりのランナイトでとても緊張する。落ちるとビレイヤーを遥かに越えていく。コーナーのトラバースまでは 12b-c くらいだがテクニカルかつバランシーで、ここで敗退する人もいだろう。

大きなレストポイントからルート中もとても易しい部分を 10m ほどこなすと最初の核心部。横クラックを掴んだら左に大きくトラバースして、ここから 11 後半位の数手をこなし、最大の核心部を迎える。かなり持ちにくい右手サイドと、爪ホールドのような左手からのデット。1 級くらいのムーブ。

ここをこなしたら残り 15m。

振り返った壁に刻まれる素晴らしいホールドを繋いでいく 12b ほどの部分。

難しさはないが、プロテクションはほとんどノブにかませたナッツ類。緊張感と高揚感でルートのクライマックスを味わえる部分である。

最後は特大のガバをつかんでマントル。タワーの頂上はテントが張れるほどの広さ。

私も世界中の岩場、ルートを登ってきたが、これほど「完璧なルート」はあまり記憶にない。ちなみにレッドポイントまでは 3 日、4 トライ。この 1 本だけでもトライに行く価値がある「世界最高の 1 本」であることは間違いない。

ギアはボルト 8 本のほかに下からキャメ#1、#0.4-0.5、#2。あとはナッツ大小 1 セット(4 箇所ほど)。

ただし通常は常に残置されている様である。



Serpentine(29)

20 周年記念で登る初登者のマルコム HB

Summerday Valley

ホーシャムから国道を 20 分、さらにダウトを 10 分ほど Follow MTN car park へ。この駐車場から岩場までは平坦な道を 10 分ほど。

ここでは Wall of Fools という岩場に行ったがプロテクションは RP や小さなナッツをノブにはさんだり、ワレメに入れたり、かなりヤバ目。相当のクライミング能力がないと生命の危機を感じる。

ほとんど残置支点はなくナチプロが基本。ボルトがあるといっても 25m に 2 本とかで、リードをしている人は我々以外見かけなかった。

初心者天国らしいが、あくまでトップロープの話。リードはそれなりの技術を要求される。

Amnesty wall

アプローチは Summerday Valley と同じく Follow MTN car park。ここから Hollow mountain に向かって 20 分ほど山道を進み、登山道が 3 つ股になるところで右に入る。5 分ほど行くと簡単な 5.9 から 30 本ほどのボルトルートが並んでいる。

ここはボルトルートのスポーツエリア。傾斜もそこそこあり、とても楽しい。まず手始めに登りにいくには大変オススメのエリア。

Centurion walls

場所は Difficult Range という 30 分ほど南のエリア。

林道からのアプローチの入り口のケルンがとても見つけにくい。左折してから 1.5 キロと記されているが実際は 1 キロも満たないうちに出てくる。

平坦なアプローチを 20 分ほどで岩場。

ルートはスポーツでボルトオンリー。何本か面白いルートがあるが、わざわざオーストラリアに来てここ？というのが正直な感想。、スポーツしかやらないのであれば登りにきてもいいだろう。

Gallery

グランピアンズでは最高のスポーツエリア。ホーシャムの街から 1 時間弱、キャンプ場に車を止めて、少々分りにくいアプローチを 45 分。噂とおりの美しい赤い砂岩。しかしスケールはなかなか小ぶりである。

登ってみるとどのルートもとても個人的で面白い。☆☆以上のルートはどれも◎だろう。ここもグランピアンズに来たら是非行きたいエリアである。

宿泊

われわれは Horsahm の町はずれにある Wimmera lake resort というキャンプ場のキャビン借りていた。2 ベットルームに大きなキッチンと居間(3-4 名用)で 1 泊 8000 円ほど。

<http://www.totaltravel.com.au/link.asp?fid=607263>

Horsam の街にはモーテルはたくさんあり、また岩場の近くにはキャンプ場も多々ある。

Horsahm から 30 分ほど離れた Alapris のキャンプ場はとても快適そうで、こちらから通う手もある。

トポ

2002 年版のトポがある。それ以降のルートは以下の HP に詳しい。(ちょっとわかりづらいが、ページの深い階層に入っていくと写真入のトポがそれぞれのエリア別に掲載されている)

http://www.climb.org.au/index.php?page_id=10&action=region®ion_id=5

アプローチ

メルボルンから単調な 1 本道をひたすら西へ。300 キロ、3 時間半ほどで基点となる町、Horsham (ホーシャム) へ到着する。ここからは Grampians, Arapiles, どちらへも 30 分から 1 時間でいけるので、ベースとしては最適だろう。

ショッピング

Horsam の街は夜中までやっているスーパーがあり日用品は全てここで揃う。Horsam にはクライミング専門店はないが、スーパー (safe way) の東 200m ほどのところにあるアウトドアショップでトポとチョークなどは手に入る。

それ以外のクライミングギアは西に 20 キロほど行った Natimuk の街にクライミング専門店があり、大概のものはここで手に入る。(値段は高い)